

# 研玉・成分表、安全シート

柳瀬株式会社

兵庫県丹波市山南町谷川1385

TEL: 0795-77-2151

作成日: 2009年1月23日

変更日: 2023年9月21日

整理番号: MSDS-Z123



## 危険有害性の要約

危険性: 危険性は極めて低い。

有害性: 研磨作業中に発生する粉じんは眼、皮膚を刺激することがある。

研磨作業中に発生する粉じんを吸入すると健康障害を起こすことがある。

環境影響: 研磨作業中に粉じんが発生するので作業環境を汚染する恐れがある。

[GHS分類] (構成純物質について)

別表参照

[GHSラベル要素] (構成純物質について)

別表参照

## 1. 物質の特定

製品及び副資材の名称	含有物質名	含有量%	CAS No.	PRTR法	労安衛法
砥材 酸化アルミニウム	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	—	1344-28-1	該当しない	1-23
砥材 炭化ケイ素	SiC	—	409-21-2	該当しない	1-23
軸部 低炭素ワイヤー	SS400	—	—	—	—
ネジ軸部 ポリビニールブチラール		—	27360-07-2	該当しない	—

単一製品・混合物の区分: 酸化アルミニウムと無機質ガラスの混合物+機械構造用炭素鋼

## 2. 研玉 (完成品)

危険・有害性の分類	分類の名称 : 分類基準に該当しない。 危険性 : 砥石が破損し、周囲に飛散して人体を直撃した場合、人身事故のおそれがある。 有害性 : 研削作業中に発生する粉塵は、眼・呼吸器系を刺激することがある。 環境影響 : 作業中に粉塵が発生するので作業環境を汚染する場合がある。 安全性 : 研削使用時に発生する火花により、火傷と火災の恐れがある。 衛生面 : 研削作業時に発生する粉塵を長期間にわたり吸入すると塵肺に罹る恐れがある。
-----------	---

<p>応急処置</p>	<p>眼に入った場合  多量の水で直ちに眼を洗い流す。必要に応じて医師の手当を受ける。</p> <p>皮膚に付いた場合  汚染部位を石鹼と水で洗う。</p> <p>吸入した場合  新鮮な空気のところへ移し、水でうがい（洗浄）をする。  必要ならば医師の手当を受ける。</p> <p>飲み込んだ場合  多量の水を飲ませ嘔吐させ、必要ならば医師の診察を受ける。</p> <p>応急処置に関する特記事項  応急処置はすべて切断又は研磨作業中に発生する粉塵によるものです。</p>
<p>火災時の処置</p>	<p>消火方法  梱包材を除き、不燃性かつ安定な物質であり、特定の注意事項なし。</p> <p>消火剤  限定なし</p> <p>火災時の処置に関する特記事項  製品自体は燃焼しないが、周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。</p>
<p>暴露防止措置</p>	<p>許容濃度</p> <p>酸化アルミニウム（1344-28-1）  日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：吸入性粉塵0.5 mg/m<sup>3</sup> 総粉塵2 mg/m<sup>3</sup>  ACGIH TLV：10 mg/m<sup>3</sup> TWA AIとして1986</p> <p>炭化ケイ素（409-21-2）  日本産業衛生学会 許容濃度 TWA：吸入性粉塵2 mg/m<sup>3</sup> 総粉塵8 mg/m<sup>3</sup>  ACGIH TLV：10 mg/m<sup>3</sup> TWA 1986</p> <p>設備対策  硬化物の研磨、切削を行う場合は、適切な局所排気装置を使用する。  換気が充分でない場合は、適切な呼吸保護具を使用する。 集塵装置を使用する。</p> <p>保護具：作業者は必ず次の保護具を着用すること</p> <p>呼吸器の保護具：国家検定に合格した防塵マスク  手の保護具：耐火花性のある手袋  眼の保護具：完全防護型の防塵眼鏡  保護衣：耐火花性のある材質の作業衣を着用  その他：防音耳栓、ヘルメット、保安靴等</p>
<p>物理／化学的性質</p>	<p>外観等：有色成形品、固体</p> <p>水に対する溶解度：なし</p> <p>状態：固体</p> <p>融点：なし。</p> <p>沸点：なし</p> <p>分解点：知見なし</p> <p>化学反応性：通常取扱状態において安定</p>

<p>取扱、及び保管、輸送上の注意</p>	<p>取扱時は落とさない事、ぶつけない事、転がさない事。  最高回転数を超えて使用しないこと。回転中の砥石に直接体を触れさせない事。  機械に取付ける前に、砥石のひび・割れ・かけ等の外観検査をすること。  チャックへの取付け時、必ず外観・芯ブレをチェックを実施し、異常のない事を確認すること。</p> <p>高温、高湿を避けて保管する。水分の凍結の恐れがある場所には保管しない。</p> <p>輸送時は砥石が破損しないよう乱暴な扱いを避ける。  「われもの」であり、放り投げ、落下などの衝撃がない事。</p>
<p>危険性情報</p>	<p>引火点 : 引火性なし  燃焼範囲ー下限 (%) : 適用しない  燃焼範囲ー上限 (%) : 適用しない  発火点 : 発火性なし  避けるべき物質 : 適用しない  安定性・反応性 : 安定。危険な重合は起こらない。</p>
<p>有害性情報</p>	<p>眼に入った場合  本品を正常に使用している場合に、眼に入ることは予想されない。  眼の機械的刺激 : 症状は刺激、発赤、角膜の傷、催涙を含むことがある。  切断、研磨又は機械加工によって発生する粉塵は眼を刺激することがある。</p> <p>皮膚に付いた場合  皮膚に付いた場合の健康障害は予想されない。  機械的な皮膚刺激 : 症状はかゆみ、発赤を含むことがある。</p> <p>吸入した場合  吸入した場合の健康障害は予想されない。  切断、研磨又は機械加工によって発生する粉塵は呼吸器系を刺激することがある。</p> <p>飲み込んだ場合  本品は、摂取される可能性は少ない。</p> <p>その他有害性情報  本品は、適切な条件又は当社の使用方法に従って使用する場合は、危険有害性はない。しかし、本品の取扱説明書に従わないで使用する場合は、製品の性能に影響を与え、危険有害性を起こす可能性がある。</p>
<p>適用法令</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「労働安全衛生規則」</li> <li>・ 「労働安全衛生法施行令」</li> <li>・ 「粉塵障害防止規則」</li> <li>・ 「PRTR 法」</li> <li>・ 「粉塵障害防止規則」</li> <li>・ 「研削盤等構造規格」</li> </ul>
<p>その他</p>	<p>記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。</p> <p>また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。</p>

構成純物質のGHS分類

○印が該当する物質	○	○
	酸化アルミニウム	炭化けい素

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外	分類対象外
高压ガス	分類対象外	分類対象外
引火性液体	分類対象外	分類対象外
可燃性固体	区分外	区分外
自己反応性化学品	分類対象外	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外	分類対象外
自然発熱性固体	区分外	区分外
自己発熱性化学品	区分外	区分外
水反応可燃性化学品	区分外	区分外
酸化性液体	分類対象外	分類対象外
酸化性固体	区分外	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない	分類できない



健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない	分類できない
呼吸器感作性	分類できない	分類できない
皮膚感作性	分類できない	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない	分類できない
発がん性	区分外	区分 1B
生殖毒性	区分できない	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分 3(気道刺激性)	区分 1(呼吸器系)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分 1(吸入:肺)	区分 1(肺)
吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	分類できない	分類できない
水生環境慢性有害性	分類できない	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル		
注意喚起語	危険	危険
危険有害性情報	呼吸器への刺激のおそれ。 長期又は反復ばく露吸入による肺の障害。	発がんのおそれ。 呼吸器系の障害。 長期又は反復ばく露による肺の障害。